

8月4日(土)発行

ほほ

昨日の感動を
お届けします!!

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



音たちが天に舞う～フランス音楽の魅力、存分に

【8/3(金)神奈川フィルハーモニー管弦楽団】

川瀬賢太郎は今年のフェスタサマーミュージックでどうしても、サン＝サーンスの「交響曲第3番」を指揮したかったらしい。素晴らしいパイプオルガンを備え、大編成のオーケストラでもくつきりと聴こえるミュゼ川崎シンフォニーホールは、聖と俗がないまぜになったこの交響曲にとって最良の演奏会場に思える。指揮者デビュー直後にアマチュア楽団を振ったときから作品に魅せられ、今回、5度目の挑戦にして遂に、常任指揮者を務める神奈川フィルハーモニー管弦楽団とともに奏でる機が熟した。

すべてサン＝サーンスの作品というプログラミング自体、日本のオーケストラ界では異例。冒頭に置かれた歌劇「サムソンとデリラ」のバックナールからしてエネルギッシュで、オーボエをはじめとする首席奏者のソロにも気合いが入り、ホールは素晴らしい高揚感に満たされた。キラキラした音たちが時に無重力状態に解き放たれ、天空に舞うようなフランス音楽特有の感触も十分に再現されている。

残念ながら「ヴァイオリン協奏曲第3番」のソリスト、神尾真由子はもともと力で押すタイプなので、そうした飛翔感や洒落な味わい

に乏しい。加えて高温多湿の環境下で楽器のコントロールに苦勞したのか、音程も定まらない。より適した作品でのリベンジに期待したい。

交響曲は期待通り、いや期待以上の出来栄だった。第1楽章第1部の踏み込みは若武者の覇気そのものだが、第2部では一転、美しくしっとりした響きが清流のように広がる。第2楽章第1部は華麗でありながら前の楽章の余韻を残し、オルガンが大活躍する第2部との対照を際立たせた。

(池田卓夫・音楽ジャーナリスト)



終演後、サインとともに。(左から)神尾真由子(ヴァイオリン)、川瀬賢太郎(指揮)、大木麻理(オルガン)

来場者の声

神奈川フィルの熱演に感動しました。川瀬さんも神尾さんもデビュー当初から注目していましたが、ますます頼もしくなって嬉しい限り。ふくよかで艶のあるストラディヴァリウスの音色、ホールを満たす大オルガンの響き、幸せな時間に感謝!(川瀬サン=讚す・60代) / サン=サーンス三昧。(協奏曲の神尾さんは)リハーサルでは曲が進むにつれ、楽器がぐんぐんと輝きをもって鳴り出した感じ。本番はめったに出会えないほどのコンチェルト体験。技巧が技巧でなく音楽になっている。シンフォニーは、あと3年は聴かなくてもいいやと思ったほど、大いに味わった。このコンビの相性もますます良くなって(鳴っている。シンバルがブラヴォー!(333)/圧倒的な音の洪水にひたれつやツ……とこの公演を選びました。オモテは36℃、でも我が心の中は120℃!(オト・フネスキー)/指揮者が元気でおもしろかった。パイプオルガンの演奏をはじめてきたいけど、すごかった。(みー・10代)/大好きな「オルガン付」、リハーサルと合わせて2度楽しめました。川瀬さんのエネルギッシュな指揮、コンマス石田さんの存在感もスゴイ!本番前に優待券で軽食、お徳感いっぱいコンサートでした。(マッチ・60代)

東京都交響楽団 ～鬼オミンコフスキのくるみ割り人形～

8/5(日) 15:00開演(11:30開場) ミュゼ川崎シンフォニーホール



NEXT!
サマーミュージック
次回のチケット情報



指揮/マルク・ミンコフスキ

●チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」

* この公演にバレエ団の出演はございません

※第1幕と第2幕の間に休憩20分が入ります/全曲版・ノーカット

♪【公開リハーサル】12:00～最長13:30

当日券あり
S～B席 計200程度
S席6,000円
A席4,000円(僅少)
B席3,000円
U25(小学生～25歳):各席半額

◎電話予約:なし
◎4階カウンター/10:00～13:30販売
◎当日券カウンター/14:00～販売
※13:30～14:00の間は販売を休止いたします

交響曲ヤマトに寄せて (文:大友直人)

名曲全集 第139回~無限に広がる宇宙~ の指揮者、大友さんよりコンサートに向けてメッセージをいただきました!

交響曲ヤマトの初演は1984年のことでしたからもう34年前になります。自作を演奏するピアニストとして初演のステージを飾った羽田健太郎さんもソロヴァイオリンを担当した徳永二男さんも当時30代半ば、私はデビュー間もない20代半ばのことでした。宇宙戦艦ヤマトのプロデューサーだった西崎義展さんの発案で企画されたこの作品は、作曲家宮川泰さんが作った多くのヤマトのテーマを羽田さんが縦横無尽に駆使したスケールの大きな交響曲です。豊か

で並外れた音楽性を持った羽田さんだからこそ完成させることが出来た渾身の大作です。

初演から長い年月が流れた今、この交響曲はその美しさと躍動感、優しさと力強さによって宇宙戦艦ヤマトというアニメーションから独立した純粋な交響曲として日本の宝となっています。

羽田さんが初めからそれを意図していたのかはもはや確かめようがありませんが、手書きのオリジナルスコアのタイトルは【交響曲ヤマト】となっていました。私は

羽田さんが大和の国日本を思っ て全力を傾けた作品のように感じています。第4楽章のエンディングは初演時にプロデューサーの西崎さんの強いリクエストにより変更が加えられました。今回の演奏では羽田さんのオリジナルエンディングで演奏いたします。

羽田さんも宮川さんも西崎さんも既に亡くなられて久しくなりました。皆さんが活力に満ち本当に輝いていた時代に音楽に託した夢と希望とエネルギーを感じて頂ければ幸いです。



© Rowland Kirishima

◆名曲全集 第139回

[日時]8/25(土)14:00開演
[会場]ミュージアム川崎シンフォニーホール
[出演]指揮:大友直人、ヴォカリーズ:小林沙羅、ヴァイオリン:大谷康子、ピアノ:横山幸雄
[曲目]萩森英明:おとづれわたる秋風を(世界初演)
モーツァルト:交響曲第41番「ジュピター」
羽田健太郎(テーマモチーフ:宮川泰):交響曲「宇宙戦艦ヤマト」
[料金]S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



中華の激戦区・川崎駅前で、お手頃ランチ

中華料理の激戦区の川崎駅前であって、シンフォニーホールから一番近い中華料理屋さんです。ドアが二重のため店内が見難くなっていますが、ランチ時、店内はサラマンでいっぱい。定食ランチは600円からと、リーズナブルな価格です。

初めての中華料理店では、必ず、ラーメンかチャーハンをいただくことにしている私としては、今日はチャーハンを選択。みじん切りのハムと卵に焼豚、グリーンピース、オーソドックスな外観ですが、味は濃厚、適度な塩味。香ばしさ、うまみ十分。ボリューム

ある主菜チャーハンにスープと香の物は大根の漬物が添えられ、デザートにあっさりとした優待特典の杏仁豆腐をいただきました。満腹。

(春)

狸小路飯店(中国料理)

▶リスト P.15 掲載

川崎駅西口

パートナーショップ特典

杏仁豆腐サービス

ミュージアム公式インスタもフォローしてね!

Instagram
ミュージアム川崎シンフォニーホール
上野耕平の休日
(サクソフォン奏者)

♡♡♡ 移動で乗った新幹線。山陽新幹線に最近走り始めた500系ハローキティ号。外装はもちろん内装も可愛い。乗るのが恥ずかしくなってしまうほど... 笑 #上野耕平 #サクソフォン #乗り鉄 #撮り鉄 #筋金入り #山陽新幹線 #500系 #ハローキティ号 #鉄道BIG4 #笑神様は突然に #アーティストの休日 #サマーミュージック #ミュージアム公式インスタ連動中



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

◎年会費3,000円
・チケット割引
・先行予約
など、お得な6つの特典あり!
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter : @summer_muza



Facebook : @kawasaki.sym.hall



Instagram : @muzakawasaki



開場時刻になるとホールスタッフが、シルクハットを被り演奏しているストリートオルガンは、西ドイツのドライカ社製で、木管パイプが31本あります。内にはリールと呼ばれるロール紙状のものをセットしており、簡単に説明するとリールに空いた穴に、ハンドルを回して空気を送り込むことで音が出ます。ハンドルを回すだけで簡単に演奏できるように見えますが、回す速度を一定に保つのは実はとても難しいです。知る人ぞ知るツウな情報ですが、公演によって曲が変わることもあります。ストリートオルガン演奏中は撮影して頂いても結構です☆ ぜひ開場時間にお越し頂き、オルガンの演奏にも耳を傾けて頂ければ幸いです。(ホールスタッフK)

昨日の感動をお届けします!!

ほほ
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

今年のフェスタも残すところあと一週間となりました。本日は、昨年の「ほほ日刊サマーミュージック」クイズコーナーでも取り上げたストリートオルガンについても少し詳しくご紹介いたします!

開場時刻になるとホールスタッフが、シルクハットを被り演奏しているストリートオルガンは、西ドイツのドライカ社製で、木管パイプが31本あります。内にはリールと呼ばれるロール紙状のものをセットしており、簡単に説明するとリールに空いた穴に、ハンドルを回して空気を送り込むことで音が出ます。ハンドルを回すだけで簡単に演奏できるように見えますが、回す速度を一定に保つのは実はとても難しいです。知る人ぞ知るツウな情報ですが、公演によって曲が変わることもあります。ストリートオルガン演奏中は撮影して頂いても結構です☆ ぜひ開場時間にお越し頂き、オルガンの演奏にも耳を傾けて頂ければ幸いです。(ホールスタッフK)

